

なんぶ 社会福祉だより

48

南部町社会福祉協議会 本 所 〒683-0351 法勝寺331-1 TEL 0859-66-2900
 会見支所 〒683-0227 浅井938 TEL 0859-64-3515



10月23日（日）、農業者トレーニングセンターで「南部町ボランティアフェスティバル」を開催しました。

当日は多くのボランティアの方に関わっていただき、また、町内の多くの企業、団体の皆様にご協賛いただき盛大に開催することができました。

心よりお礼申し上げます。

平成28年度

南部町社会福祉協議会長表彰



▲ご出席いただいた受賞者のみなさま

◇民生・児童委員功労者◇

所 属	氏 名
南部町民生児童委員協議会	小川 優

◇社会福祉団体役員功労者◇

所 属	氏 名
社会福祉法人祥和会 評議員	野原 努



◇ボランティア・福祉活動功労者(個人)◇

(敬称省略)

所属役職名	氏 名
愛の輪協力員	福田千恵子
愛の輪協力員	小倉 榮子
愛の輪協力員	亀尾 弘子
地域福祉委員	岩田 三夫
地域福祉委員	長尾眞由美
おはなし・ドン 会員	角田 敏子
会見調理ボランティアグループ 会員	中曾 武子
西伯配達ボランティア	仲田 良衛
西伯配達ボランティア	秦野 俊美
西伯配達ボランティア	景山二三枝
西伯配達ボランティア	杉本 光昭
会見配達ボランティア	板持 瑞枝
会見配達ボランティア	井田 栄子

平成二十八年度の南部町社会福祉協議会会长表彰は、個人十五名が受賞されました。十月二十三日の「「南部町ボランティアフェスティバル」において、表彰状の授与と記念品の贈呈を行いました。

永年に亘る社会福祉・ボランティア活動等、地域の福祉活動にご尽力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

5・6級ヘルパー認定



小学生17名、中学生65名が「夏休みボランティア体験」に参加してくれました。

所定の活動日数（小学生2日、中学生3日）を体験した児童・生徒には、南部町独自のヘルパー認定証が手渡されます。ボランティアフェスティバル当日の認定式では、5級ヘルパー認定証は副町長より中学生に、6級ヘルパー認定証は社協会長より小学生の代表に手渡されました。

平成28年度 5級・6級ヘルパー認定者

法勝寺中学校

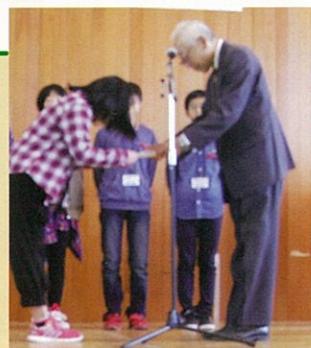
1年生	亀尾 幸美 山岡彩理菜 岩田瑠希凪 秦 祐心 枝谷 潤
2年生	青砥 優月 山根茉優花
3年生	山崎 姫美 船越 翔太 田中 千優 奈良井優麻 大谷 龍也

赤木 高木 岡崎 田子 細田 恩田 遠藤 遠藤 生村 秦 田中 愛寿香 隅田 風香	冴加理奈 伊吹真優 唯葵未弥 寧々 侑輝 菜々美 香
---	--

松本 茉花 米田 愛々佳 田中 嵩太 細田 都	美友海子 拓海 眞子 美吹
青砥 細田 門脇 川崎 細田 大塚	泰士隼人

会見小学校

5年生	内藤 彩乃 新井 紀香 小谷 隼人 米原 史華
6年生	加藤 陽人 中井 俊輔



南部中学校

1年生	雑賀 妃菜 荒金 歩 田村 向葵
2年生	秋田 康稀 赤井 陸
3年生	

仲田ひまり 梅原 千春 内藤さつき 遠藤 凪沙

亀井 雜賀 慎都 優奈
福間純之介

西伯小学校

5年生	瀧山 晴那 松田 杏南 高塚 心菜 米田和々愛 岡田真由子
6年生	富永 日陽 勝田 敦也 田中 佑月

アフェスティバル

で暮らせる支え合いのまちづくりの
げよう心とこころ」をテーマとし
動、地域活動に関わっている関係者
りや交流を図りながら、南部町全体の
ことを目的として開催しています。



いきいきサロンの
活動紹介、作品展
示、夏休みボラン
ティア体験の展示
も賑わいました。



南部町ボランティ



誰もが安心して住み慣れた地域
ために、「広げよう地域の絆、つな
て、ボランティア活動者や福祉活
が一堂に集い、顔の見える関係づく
人のつながりや地域の絆を深める



たくさんの協賛品をありがとうございました！

鳥取西部ジェイエイサービス 緑水園 さいはく山菜加工組合 南部町祐生出会いの館 山陰管財 はしもと電器
南部町赤十字奉仕団 竹内商店 AOTカーサービス 清水川農事生産組合 南さいはく地域振興協議会
あいみ富有の里地域振興協議会 ノームの糸車 スポnetなんぶ 前田石油店 秦石油店 特産センター野の花
南部町共同募金委員会 南部町社会福祉協議会 山陰合同銀行 西伯郵便局 会見設備 戸田商店 西伯病院
西部やまと園 JA西伯支所 JA会見支所 (株)丸合 (順不同・敬称省略)



いきいきサロン

寺内区

こんにちは、寺内たんぽぽサロンです

世話人 仲田春美

平成28年4月、寺内たんぽぽサロンが誕生しました。地域の高齢化が進むなか、住み慣れた地域で楽しく語らいながら集う場を提供したい、との強い思いでスタートしました。現在会員14名、スタッフ5名で、年8回以上位の開催を目指して活動しています。



- | | | |
|-----|--------------------|-------------------------|
| 4月 | サロン開設式
レクリエーション | 布遊びを楽しもう
素敵な作品が出来ました |
| 6月 | 料理講習会 | |
| 7月 | 立川らく人 里帰り落語会 | |
| 9月 | 「老いを生きる」映写会 | |
| 10月 | 館外研修 松江方面 | |
| 11月 | 「布遊びを楽しもう」人形作り | |

サロンの始めには、南部町民歌体操をして心と体をほぐします。そして楽しみな昼食は、時折スタッフが賄いメニューを御馳走しています。評判も上々です！！毎回スタッフも含めて15名以上の参加で、雑談あり、学びあり、娯楽あり、皆さんのはじける笑顔が、とても素敵です。交流しながら絆を深め、自然に助け合える温かい地域づくりが出来ればと思っています。また、寺内の方からも、サロン用にと椅子やテーブルを購入して頂き、感謝しています。

サロンでお出かけ買い物ツアー

平成28年度、新しい企画です。サロンの実施日に合わせ、社協職員が8人乗りワゴン車で阿賀の丸合、ナフコなどへ送迎いたします。（事前の日程調整が必要です）



「普段、買い物は若い者がしてくれること多めですが、たまには自分で品物を見ながら買い物したいなあ」

「サロンの仲間と一緒に買い物に出かけたいなあ」

「買い物に行くけど、サロンに出てみない？」

サロン参加のきっかけや、お楽しみメニューの一つとしてご利用いただけたらと思います。

今年度、すでに3つのサロンにご利用いただきました。今後の予約も頂いています。

11月18日、寺内たんぽぽサロンに同行取材させていただきました。

ご好評で「また、行きたいわあ」と言って頂きました。



行き帰りの車内も会話が弾みます



お仲間と一緒に買い物♪楽しそうです



じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金



平成 29 年度 助成事業 募集中

受付期間：H28 11月19日(金)～H29 1月27日(金)

このような事業に使われています

平成 28 年度助成事業

南部町社会福祉協議会	南部町ボランティアフェスティバル 夏休みボランティア体験事業 リサイクル活動（ペットボトルキャップ回収）事業 福祉の心を育てる教育活動への支援事業 ひとり暮らし・高齢者世帯を対象とした懐中電灯配布事業 配食サービス調理活動におけるエプロン購入事業
南部町身体障害者福祉協会	第42回中・四国身体障害者福祉大会（やまぐち大会）
南部町老人クラブ連合会	広報活動事業 健康増進事業
福里区	福里健康づくり応援団
赤谷区	元気活き活きふれあい交流事業 歳末見守り交流事業
南部町ボランティア連絡協議会	ふれあいクリーンウォーク
高姫区	世代間交流事業
円山区「だんだん」	円山区高齢者の集いの場「だんだん」
あいみ富有の里地域振興協議会	子どもと大人の交流事業 歳末米粉もち配布
南さいはく地域振興協議会	歳末福祉のもちづくり事業
東西町地域振興協議会	年末福祉おせち
あいみ手間山地域振興協議会	歳末見守り事業（てまやまおこわ）
大国地域振興協議会	世代間交流事業
天津地域振興協議会	歳末福祉餅つき会としめ縄づくり



南部町社会福祉協議会
夏休みボランティア体験事業



円山区 高齢者の集い「だんだん」

南部町共同募金委員会

福祉の心を育てる教育活動への支援事業

南部町社会福祉協議会では、町内の小・中学校の児童・生徒を対象に社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕の心やともに生きる大切さ「福祉の心」を育てることを目的に、共同募金助成金を活用し、町内中学校2校、小学校3校に対し福祉教育助成金として活動費を助成し、福祉教育の取り組みを推進しています。

年1回福祉教育担当者会議を開催し、各学校や地域での福祉教育への取り組みについて協議、情報共有を行っています。

福祉教育協力校は、学校や地域の実情に合わせた独自の目標をもち、学校教育全体の中で福祉教育の指導計画を立て、施設訪問・高齢者や障がい者との交流活動・共同募金への協力・環境整備活動など、様々な体験活動を通じて、生徒や保護者の福祉意識の高揚を図りながら活動を実施しておられます。

また、ペットボトルキャップ回収、分別、発送を各学校で行い、リサイクル活動の促進、夏休みボランティア体験事業への参加も積極的に呼びかけボランティア活動の推進も図っていただいている。各学校の実施内容の一部をご紹介します。

南部中学校



南部中学校では10月14日（金）に、花の苗植えを行いました。全校生徒、教職員に加え、コミュニティースクールの方の協力を得ながら、プランターや花壇に花の苗を植えました。部活動ごとに作業場所が分担され、1年生から3年生まで協力して植えることができました。

法勝寺中学校



福祉委員会で赤い羽根共同募金活動を行っています。

先日、募金呼びかけポスターを作成しました。色画用紙とカラーペンは社会福祉協議会助成金により購入させて頂きました。感謝の気持ちをもって大切に使わせて頂きます。

また、この他に花の苗植えの際に使う移植ごてや卒業式の花道として地元「花回廊」の花を購入させて頂いております。今後も福祉委員会の活動を通して、生徒一人一人に「福祉の心」を育成していくようにしていけたらと思います。

会見第二小学校



会見第二小学校では、毎年「二小の子どもを育てる会」の皆さんといっしょに、さつま芋の栽培をしています。助成金で芋苗やマルチ等を購入させていただいています。芋苗植えや蔓刈りの仕方はもちろん、黒いマルチをかける理由なども教わっています。今年は、芋の蔓を使った料理も教えていただきました。10月に収穫したさつま芋は、生活科やクラブ活動等で料理を作って食べたり、2月に行う「二小感謝祭」では、お世話になった地域の方に、芋のお菓子を振る舞ったりすることにしています。

会見小学校

会見小学校では、福祉環境委員会を中心となって、『花いっぱい運動』をしています。児童ボランティアを募集して、初夏にはサルビアやマリーゴールドを、秋にはパンジー・ビオラ、チューリップを植える活動をしています。秋に植えた花が、来年の春まできれいに咲くように、当番を決めて水やりをしたり、肥料を与えたりして大切に育てています。会見小学校が花いっぱいの学校になることを目指してがんばっています。

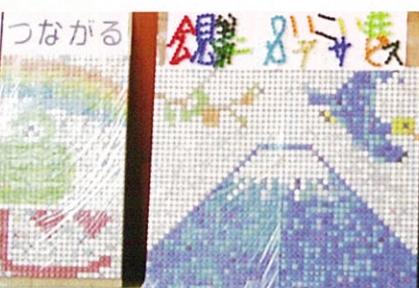


西伯小学校

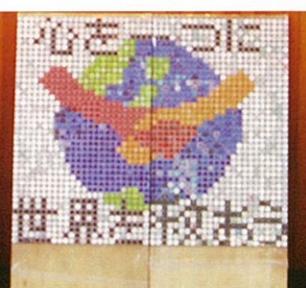


西伯小学校では、毎年、助成金を使ってゴーヤのグリーンカーテンを栽培しています。環境福祉委員会の児童がプランターの設置、苗植えをし、コミュニティースクールのコーディネーターさんやはたらく部の方たちに手伝っていただきカーテンの設営をしてもらいました。委員会の子どもたちが毎日水やりに精を出し、今年も夏の厳しい日差しをさえぎってくれました。

ペットボトルキャップアート、ボランティアフェスティバルで展示させていただきました



西伯小学校



会見小学校



法勝寺中学校



南部中学校

ありがとうございました



(平成28年11月17日受付まで)

頂戴しました寄付金は、地域福祉委員の活動費・なんでも相談所運営経費・いきいきサロン活動助成金・地域振興協議会への助成金、福祉バス運営経費など、地域の福祉活動・社協活動の財源として活用させていただいています。

香典返し

(敬称は省略させていただきました。)

寄付者名	集落名	故人名	金額
野口辰己	鶴田	律子	金一封
澤村一朗	諸木	妙子	金一封
井上憲司	今長	五月	金一封
藤江亨	円山	末子	金一封
赤井昶夫	朝金	はや子	金一封
牛中篤登	入藏	利満	金一封
板尊昭	江原	幸博	金一封
福間裕隆	天萬	房波	100,000円
岡田昭博	市山	昌孫	金一封
頬田卓	小原	實	金一封
長尾誠一	馬場	豊子	金一封
竹本明春	下阿賀	傳市	金一封

寄付者名	集落名	故人名	金額
赤井貞治	諸木	勝國	金一封
野口勝樹	谷川	琴枝	金一封
小森淳志	上阿賀	光枝	金一封
坪内信吾	原	ツネ子	100,000円
田本敏郎	円山	花枝	金一封
伴藤哲也	北方	仁・竹枝	金一封
井塚辰二	下阿賀	節代	30,000円
平山康和	東西町4区	和美	金一封
森田瑞子	東西町4区	重行	金一封
龜田晴千枝	柏尾	勲夫	20,000円
岩崎誠治	馬佐良	憲	金一封

◎ご寄附の際に、広報紙への掲載を同意された方のみ載せています。

◎寄附金額等の記載につきましては、寄附者ご本人の意思によるものです。

平成28年鳥取県中部地震

平成28年10月21日(金)発生した地震により現在、21名の重軽傷者、全壊、半壊、一部破損の合計12,014棟の住家被害が確認されています。

倉吉市、北栄町、湯梨浜町、三朝町に災害ボランティアセンターが設置され、屋外・屋内の片付けやがれき撤去などのニーズが多く寄せられており、ボランティアにより復旧支援が行われています。

南部町社会福祉協議会からも倉吉市災害ボランティアセンターの運営を支援するため職員を期間的に派遣しています。



平成28年鳥取南部地震災害義援金を募集しています

受付期間：～平成29年3月31日

募金箱設置場所：総合福祉センター・あわせ・天万庁舎

最近高齢者の重大事故が相次いでいる。アクセルとブレーキの踏み間違いなど、過失による操作ミスや、加齢による瞬時の判断能力や視力の低下による事故、また、認知症の疑いがある等である。

警察庁の統計によると65才以上の運転者が過失で重い「第一当事者」になつたケースは26%に約10年間で10%増加している、全体の事故は減少傾向にある中で、75才以上の割合は7.4%から12・8%に上昇している。最近発生の「横浜市、立川市」の重大事故のいずれの運転者も80代であった。今後も高齢化が進み重大事故が増える傾向が予想される。来年3月には認知症機能検査の強化を柱とする「改正道交法」が施行される。重大事故につながる逆行や信号無視など18項目を違反した場合、臨時の認知機能検査を課し症状の変化を把握する狙いである。

「法改正」による高齢運転者対策の強化だけではなく、社会全体での一層の支援が必要である。

また運転に自信がなくなつた人の運転免許の自主返納も呼びかけている。生活の足をうばい高齢者を孤立させる事のない対策も大事である。

地域高齢運転者の動向も監視する等、地域での支援も大事である。

高齢者が被害者、加害者にならない様、安全運転に徹しましよう。

編集後記